御招待

セレステイーナ男聲合唱團

寺西頌一氏

送別演奏會

昭和17年10月24日（土）

19時30分

於

神戸市神戸區中山手通七丁目

主恩教會

（舊神戸イエスキリスト教會）

プログラム

I

1 合唱

歌謡　シユポール
夜を讃ふ　ベートーフエン
奉献歌　ベートーフエン

2 テノール獨唱　市村太郎
ピアノ伴奏　松山一子

二人の擲弾兵　シユーマン
未定

3 四重唱

ドイツ民謡五曲
ローレライ
三つの小薇薔
野薔薇
タラウの娘アンナ
菩提樹

4 バリトン獨唱　三浦勇
ピアノ伴奏　松山一子

さすらひ人　シユーベルト
出船　松山長谷雄
歸れソレントへ　イタリー民謡

II

5 合唱

歌劇"魔笛"より　モーツアルト
奉讃歌
黎明曉を告ぐれば
アヴエマリヤ　十五世紀ドイツ聖歌

6 ギター獨奏　田中幾太

メヌエツト　ソル
スペイン舞曲第五番　グラナドス
アルハンブラの憶ひ出　タレガ

7 テノール獨唱　寺西頌一
ピアノ伴奏　木田榮子

アデライデ　ベートーフエン
汝こそ我が憩ひ　シユーベルト
ロマンツエ　シユーマン

8 合唱

いとまごひ　シユワーベン地方民謡
別離　グリユツク
明日はお別れ　ジルヘル

セレステイナ男聲合唱團を愛して下さる皆様

私達の合唱團が大正十一年セレステイナオルフェオーノとして誕生致しましてより、名稱は時に從つて變り現在公式に用ひて居ります神戸男聲合唱團に至ります迄こゝに二十年の年月を閲して參りました、往時を顧み、現今の神戸の合唱運動の隆盛と思ひ合せますと感慨無量なものがあります。

この二十年の永い年月一途にセレヌテイナの育成の爲有る限りの情熱と樂才を傾け盡して努力されました我等の主宰者寺西頒一氏の功績については忘れ得ぬ感激を覺えます、セレヌテイナの歴史は則ち寺西さんの歴史でありました、否セレヌテイナは寺西さんであつたと云つていゝと思ひます、不敏な私達は寺西さんの情熱に引きづられて今日迄過して參りお蔭で絶えず心の潤ひを持ち續ける事が出來ました、その寺西さんが今般勤務先東京海上の岡山營業所長として榮轉に決しました、これを知つて私達は氏の榮進を喜ぶと共にせまり來る惜別の情に堪えぬ思を致して居ります。

私達は寺西さんに頼り切つて居りました、寺西さんは合唱の爲だけでなく團員一人々々に豐かな愛を注いで止まない人です、職業年齢を越えて團員間に溫い友情の城を築き、海外に、或は戰野にある團員も神戸に寺西さんが居る、寺西さんが居るからセレステイナがあると歸りゆくべき故郷を持つ者の氣安さを感じて活動する事が出來ます、その寺西さんを送らねばならぬ私達の淋しさは御諒解下さる事と思ひます、しかし私達は只惜別の悲しみに沈んでは居られません、寧ろ寺西さんの今後の發展を祈り首途を祝はねばなりません、そして殘りの者で寺西さんの志をついで何時迄もセレステイナを守り行く事こそ何よりの報恩であると思ひます。

こゝに餞別に代へ小さな音樂會を懐しい前名と曲目によつて開催致す事にしました、何卒一夕を靜かに私達と共にお過しになり寺西さんの行を壯にして下さいます様御願申上ます

團員一同